

YANCEY STRICKLER

▪ Co-Founder and Former CEO of Kickstarter

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Business
- Leadership
- Management
- Motivation

Yancey Stricklerは、クリエイターとその作品のための世界最大のクラウドファンディングプラットフォームであるKickstarterの元CEO兼元創設者です。アート、テクノロジー、そして新しいコンシューマ製品のための盛んなコミュニティです。それは、社会的良心と途方もない経済的成功とを結びつけるビジネスを構築しようとしている起業家や企業にとっては最高のモデルです。競合他社を実存的な脅威としてではなく、同じ志を同じくするグループが同じクリエイティブな空間を共有していると見なしている例もあります。StricklerはKickstarterと一緒に散歩し、その中でクリエイティブは彼らのプロジェクトのために40億ドル以上の資金を調達する手助けをしました - それらの中のカード対人間性、Oculus Rift、本、コミック、アートワーク、ガジェット、演劇、そしてレストラン。New York Timesが書いたようにKickstarterはPublic Benefit Corporationになり、「利他主義に対する利益」に焦点を当てることを選択しました。タイムジョブ

彼の新しい本「これは私たちの未来かもしれない：より寛大な世界のためのマニフェスト」でStricklerは富の追求がどのように革新と繁栄を生み出したかを探ります。この経済的最大化に対する信念は悲惨な結果を生み出しました：環境の崩壊、汚職、不平等、そして世界中でますます不満が高まっています。Stricklerが視聴者と共有するように、答えはお金を取り除くことではありません。それは私たちの価値観を広げることです。地域社会、目的、持続可能性など、お金以外の他の価値観に合理的な価値観を割り当てることによって、寛大で公正、そして将来に備えた社会を築くために私たちのエネルギーに焦点を合わせることができます。私たちの価値の定義を見直すことで、不足の世界は豊かな世界になることができます。

Stricklerは、Fast CompanyのMost Creative Peopleの1人に選ばれ、Vanity FairのNew EstablishmentおよびFortuneの40歳未満の40歳にもランクされています。彼の楽観的なビジョンを、新しい成功モデルを受け入れたいと考えている起業家、大学、協会、および非営利団体と共有する。彼は、New Museumのアート、デザイン、およびテクノロジーのインキュベーターであるNew Inc.の役員を務めています。作家によるエッセイとインタビューを特集したThe Creative Independentを共同創設し、Tribeca Film FestivalからTribeca Disruptive Innovation Awardを受賞しました。Kickstarterの前は、eMusicの編集長を務め、Pitchforkのために他の出版物のために書いていました。これは私たちの未来かもしれないバイキングによって2019年秋にリリースされます。